

このリストは、<sup>としょかん</sup> 図書館の <sup>しよくいん</sup> 職員が、<sup>ねんせい</sup> 3・4年生のみなさんに  
よ<sup>よ</sup>読んでほしい本<sup>ほん</sup>を選<sup>えら</sup>んだものです。

しながわ <sup>としょかん</sup> 品川図書館	きたしながわ 北品川 2-3 2-3	☎3471-4667
ふたば <sup>としょかん</sup> 二葉図書館	ふたば 二葉 1-4-2 5	☎3782-2036
えぼら <sup>としょかん</sup> 荏原図書館	なかのぶ 中延 1-9-1 5	☎3784-2557
(荏原図書館は、 <sup>たいしんかいしゆうこうじ</sup> 耐震改修工事のため平成27年7月末まで休館予定)		
みなみおおい <sup>としょかん</sup> 南大井図書館	みなみおおい 南大井 3-7-1 3	☎3761-6780
げんじま <sup>としょかん</sup> 源氏前図書館	なかのぶ 中延 4-1 4-1 7	☎3781-6273
ゆたか <sup>としょかん</sup> ゆたか図書館	ゆたかちよう 豊町 1-1 7-7	☎3785-6677
おおい <sup>としょかん</sup> 大井図書館	おおい 大井 5-1 9-1 4	☎3777-7151
ごたんだ <sup>としょかん</sup> 五反田図書館	にしごたんだ 西五反田 6-5-1	☎3492-2131
おおさき <sup>としょかん</sup> 大崎図書館	おおさき 大崎 2-4-8	☎3495-0660
やしお <sup>としょかん</sup> 八潮図書館	やしお 八潮 5-1 0-2 7	☎3799-1414

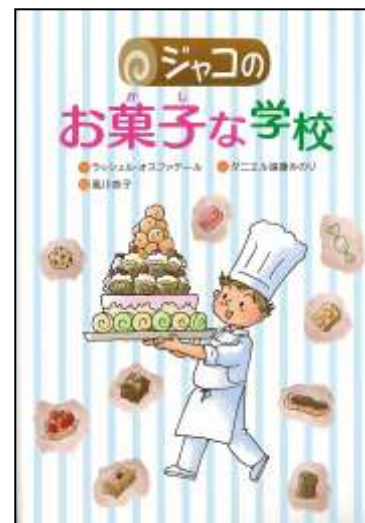
<sup>きゅうかんび</sup> 休館日、<sup>かいかんじかん</sup> 開館時間などは、<sup>かくとしょかん</sup> 各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、<sup>ひょうしえしやう</sup> 各出版社の <sup>かくしゅつばんしや</sup> 許諾を得ています。

2014 . 10 発行

# よんでみたいな！

<sup>ねんせい</sup>  
3・4年生



「ジャコのお菓子な学校」

ラッセル・オスファテール <sup>さく</sup> 作  
ダニエル <sup>えんどう</sup> 遠藤 <sup>やく</sup> みのり 訳 <sup>かぜかわ</sup> 風川 <sup>きょうこ</sup> 恭子 絵  
ぶんけんしゅつばん  
文研出版

しながわくりつとしょかん  
品川区立図書館

## 『犬になった王子 チベットの民話』

君島 久子 文 後藤 仁 絵  
岩波書店



プラ国の王子アチョは、国の人たちにごちそうを食べさせたいと思い、「こくもつのタネ」を持つ山の神のもとへ向かう。いくつもの試練を乗り越え、ようやく山の神に会うことができた。ところが「こくもつのタネ」は、蛇王が持っている、蛇王のもとへ行ったものは、みな、犬にされると聞かされる。

## 『道はみんなのもの』

クルーサ 文 モニカ・ドペルト 絵  
岡野 富茂子・岡野 恭介 共訳  
さ・え・ら書房

今から100年ほど昔、自然がたくさんあった村はだんだん子供たちが遊ぶところもなくなって、道で遊んでいてもじゃまものあつかい。「道はみんなのもの」なのに…。そこで子供たちは「遊び場」をつくってもらうためにアイデアを出しあって頑張ります。子供たちの思いは伝わったのでしょうか？



## 『つなのうえの ミレット』

エミリー・アーノルド・マッカーリー 作/絵 津森 優子 訳  
文溪堂



ミレットが住む宿屋に、もと「つなわたり師」のベリーニがやってきた。ミレットもつなわたりをやりたくて、なんでもなんでも練習する。昔ベリーニはものすごい芸当をやっていたが、今はこわくなってできなくなってしまったのだ。

でも、ミレットのためにベリーニは、あることを決意する。

## 『川をのぼって森の中へ ボルネオ島マハカム川の旅』

今森 光彦 作  
偕成社

「宝石の川」とよばれているマハカム川を船でさかのぼる探検にでたぼく。

船で見たきれいな子どものせおいかごが、先住民族ダヤクの人がつくると知り、上流に住むダヤクの人に会いにいった。そしてダヤクの人が、昔住んでいたもっと森のおくへ。

写真が美しい探検記です。



とりあつかいせつめいしょ  
『かあちゃん取扱説明書』

いとう みく さく 佐藤 真紀子 絵  
童心社

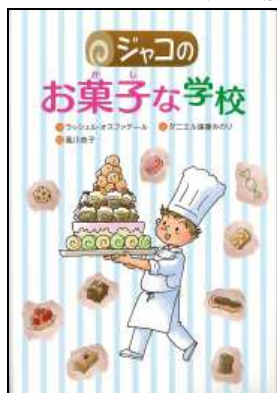


いつもかあちゃんにがみがみ言われている哲哉。ある日学校で作文を書くことに。内容はかあちゃんの悪口なのに先生にほめられてしまう。しかたなく、とうちゃんに見せることにした哲哉。そしてとうちゃんにある方法を教えてもらい、たくさんアイデアを考えた。いったいそのアイデアとは？

かし がっこう  
『ジャコのお菓子な学校』

ラッセル・オスファテール 作  
ダニエル 遠藤 みのり 訳 風川 恭子 絵  
ぶんけんしゅつぱん 文研出版

食べることが大好きなジャコ。ある日、図書館でお菓子作りの本を見つけ、クッキー作りに挑戦する。失敗と成功を繰り返しながらできたクッキーはもう最高。それ以来、お菓子を作るようになり、苦手な算数と長い文章もできるようになってきた。だが、お菓子屋を始めたジャコのもとに、中学生達がやってきて…。



かえ たび  
『あたしがおうちに帰る旅』

ニコラ・デイビス 作 代田 亜香子 訳  
しょうがつかん 小学館

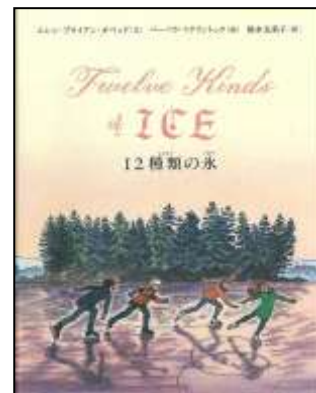


いじわるなペット屋のおじさんに、「イヌ」と名付けられた女の子。ある日ついに、ともだちのオウムの「カルロス」とハナグマの「エズミ」といっしょに、ペット屋をにげだした。アマゾンにむかう船にのりこんだが、そこでも、次々に危険がまちかまえていた。はたして「イヌ」は、無事にうちにとどりつけるのか？

しゅるい こおり  
『12種類の氷』

エレン・ブライアン・オベッド 文  
バーバラ・マクリントック 絵 福本 友美子 訳  
ほるぶ出版

だんだんと冬が近づいてきて、バケツの中の水も、うすくこおりはじめました。やがて、畑がこおり、小川がこおり、そして庭には、待ちのぞんでいたスケートリンクができあがりました。さあスケートぐつをはいて、氷のせかいにとびだそう！



# 『パン屋のこびととハリネズミ ふしぎな11のおとぎ話』

アニー・M・G・シュミット 作 西村 由美 訳  
たちもと みちこ 絵  
徳間書店



パン屋さんには、「パン生地こびと」  
がすんでいます。とてもいいこびとなの  
に、気むずかしやのパン屋のトリップさ  
んは、パン生地こびとをどなってしまった  
からたいへん！

ふしぎでゆかいなお話が、11話  
入っています。どれから読んでもおもしろ  
そう。

# 『江戸のお店屋さん』

藤川 智子 作  
ほるぷ出版

江戸時代のお店ってどうなっている  
のかな？

薬屋さん、本屋さん、お菓子屋さん。  
スーパーやコンビニとは、全然ちがう  
ね。でもなんだか、楽しそう。

それぞれのお店をじっくり見てみた  
くなる本です。



# 『キタキツネのおかあさん』

竹田津 実 文・写真  
福音館書店



北海道の大地で生まれた娘ギツネが  
おかあさんになる季節がやってきまし  
た。でもひとりだちはできなくて、おか  
あさんの巣穴で子そだてを始めました。

おかあさんが三びき、子ギツネがいつ  
ぱいの大家族です。子ギツネはおかあ  
さんが大好き。でもおこるととても怖い  
んですって。みんなの家も同じかな？

# 『動物のちえ① 食べるちえ』

成島 悦雄 監修  
偕成社

いろいろな動物がえものをつかま  
えたり、たべものをたくわえたり、生きて  
いくために、おもしろいちえをしぼりま  
す。ヒグマ、カツオドリ、ドングリキツ  
ツキ…。さあどんな行動をとるのか見て  
みましょう。

すてきな写真で紹介されている本で  
す。

